	4°E # -	\	
	<u> </u>	<u>対 照 表</u> 年3月31日) ァクロ	ストランスポート株式会社
	·		(単位:円)
資産の	部	負債の	部
科目	金額	科目	金額
現 金 • 預 金	702,747,541	支 払 手 形	147,086,124
受取手形	19,803,184	営業未払金	354,591,674
電子記録債権	14,284,468	短 期 借 入 金	1,220,000,000
営業未収入金	1,239,701,514	未 払 金	97,428,195
商品	17,104,359	リース未払金	1,822,118
貯 蔵 品	1,110	リース債務	141,418,618
前 払 費 用	227,220,745	未 払 法 人 税 等	5,566,700
従業員短期貸付金	1,146,496	未 払 消 費 税	22,965,262
立 替 金	352,843	未 払 費 用	169,314,096
	3,547,345,694	前 受 金	17,537,678
設備未収入金	671,050	預り金	7,872,215
その他の流動資産		賞 与 引 当 金	110,597,458
貸倒引当金	△ 443,119	役員賞与引当金	13,187,000
流動資産計	5,769,935,885	<u> </u>	2,309,387,138
建 物	140,697,367	2	4,727,500
構築物	5,909,287	退職給付引当金	230,414,006
機 械 装 置		預り保証金	21,149,236
車輌運搬具	12,644,263	長期リース債務	230,139,251
工具器具備品	41,717,458	長期リース未払金	2,652,892
土 地		資産除去債務	248,103,306
	366,412,229	長期繰延税金負債	240,100,000
有形リース資産	223,704,697	<u> </u>	737,186,191
有形固定資産計	791,085,301	負債合計	3,046,573,329
営業権	791,083,301		
		資 本 金	20,000,000
電話施設利用権	3,614,700	 	20,000,000
型 品 心 改 刊 历 推		その他資本剰余金	
無形リース資産	20,985,267	ての他貝本利示立	
無形固定資産計	49,569,205	次 士 釗 众 众	
投資有価証券	74,169,172	資本 剰余 一利 益準 備金	7 550 000
	5,673,448		7,550,000
長期貸付金	440 OF 1 OO 2	その他利益剰余金	4,228,021,541
保証金	448,051,803	別途積立金	1,374,000,000
破産債権更生債権	763,366	繰越利益剰余金	2,854,021,541
その他の投資	2,421,035	利益剰余金 一点 3 # #	4,235,571,541
長期繰延税金資産	210,745,593	自己株式	
貸倒引当金	△ 763,366	株 主 資 本 計	4,255,571,541
II. 2/20 Arts = 1			
投资等計	666,891,879	その他有価証券評価差額金	△ 62,633
固定資産計	1,532,146,352	評価・換算差額等計	△ 62,633
繰 延 資 産		純 資 産 合 計	4,255,508,908
資 産 合 計	7,302,082,237	負債及び純資産合計	7,302,082,237

個 別 注 記 表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 有価証券の評価基準及び評価方法

時 価 の あるもの ・・・・・ 期末日の市場価額等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均

法により算定)

2 たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切り下げの方法)によっております。

商 品 ・・・・・ 個別法に基づく最終仕入原価法

3 減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)・・・・・ 定率法

但し、リース資産及び平成10年4月以降に取得した建物(建物付属設備を除く)については定額法。また、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産は、改正後の法人税法に基づく減価 償却方法により行う。

無形固定資産(リース資産を除く)・・・・・ 定額法

但し、電話施設利用権は非償却資産です。

リース資産 ・・・・・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産、 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4 引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金 ・・・・・ 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績

率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を

検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞 与 引 当 金 ・・・・・ 従業員に対して支給する賞与に備えるため、支給見込額基準に基づい

て計上しております。

役員賞与引当金・・・・・・役員賞与の支給に備えるため、支給見込額基準に基づいて計上してお

ります。

退職給付引当金・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計基準に定める簡便法

を採用しております。

役員退職をの支給に備えるため、退職慰労金支給に関する内規に基

引 当 金 づく期末要支給額を計上しております。

5 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税抜き方式によっております。

Ⅱ <u>当期純利益金額</u> 54,576,834 円